ボランティアってなぁに？ Ver. 2

～制作～

ボランティア団体Asobo！会

代表：西村　剛

はじめに・・・

- ボランティアってなんだろう？

外来語である「ボランティア」という言葉。

現在は人口の9割以上がその言葉を知っており、人口8割以上の人が関心を持っている言葉です。しかし、実際に活動したと答えた人はおよそ3割しかいません。

この資料はそんな「ボランティア」を広める為に、私たちが「ボランティア」を正しく理解し、たくさんの人に活動に参加してもらうキッカケ作りの為の資料となっています。

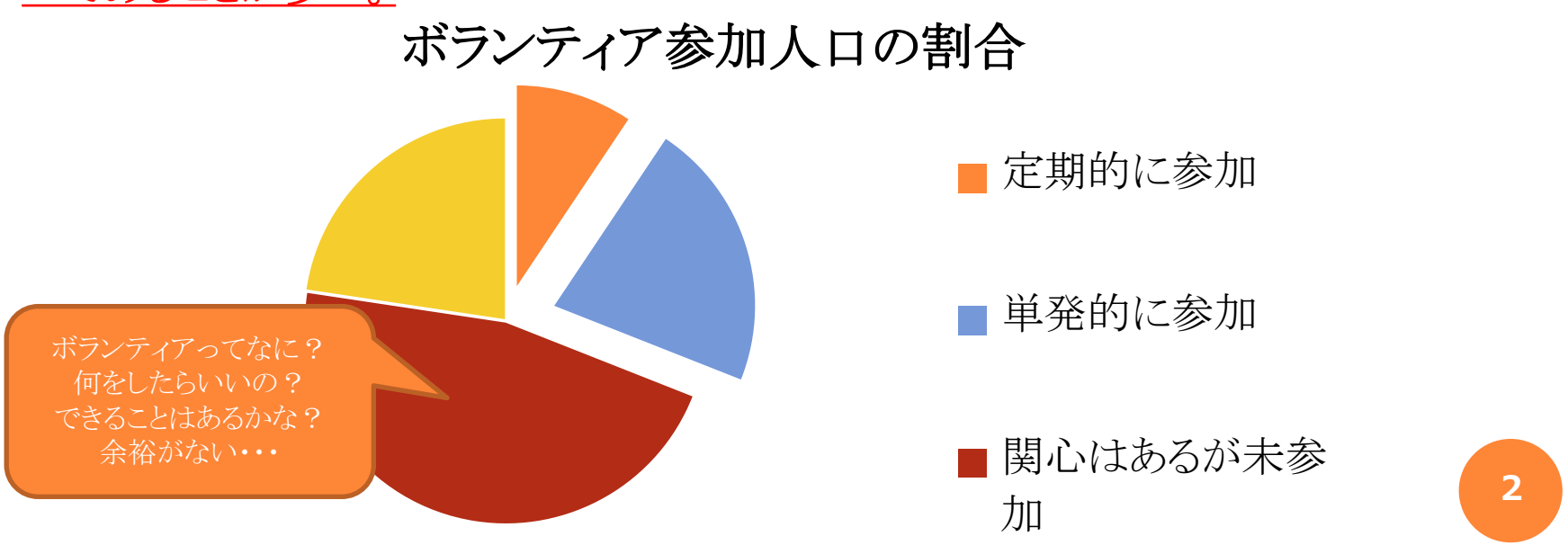
また、既に参加している方にとっても、改めて考えることにより、これからの活動において励みになる事を期待しております。

Asobo！会代表
西村　剛

ボランティアとは？

- ボランティア活動への参加状況

国政調査によると、ボランティア活動の参加人口は全体の約3割しかない。参加したことがない人の多くが「ボランティア」がよくわからない。何をしていいかわからない。むずかしそう。余裕がない。といったイメージがハードルとなり参加できていない。だが、その多くは間違った「ボランティアの理解」から来るものであることが多い。



ボランティアとは？

- ボランティアってなんだろう？

(1)ボランティアとはどんなことだと思いますか？

(2)実際にボランティアをしたことはありますか？

□ はい　□ いいえ　□ わからない

(3)ボランティアと聞いて思いつく活動を書き出してみてください。

ボランティアとは？

- ボランティアの語源と大切な意味

ボランティア＝「Volunteer（英）」と書きます。
↓
Volunte→Voluntas（ウォルンタス「自由意志」）に
er→（人を表す接尾辞）を付けてVolunteerとなります。

語源はラテン語の「Volo」（Will：喜んで～する）となり
つまりは・・・
「自発的意思に基づいて行動する人」という意味です。

間違った例：
奉仕活動→×　無償労働→×　嫌なことをする→×
奉仕活動は「community service」と明確に区別されている。
何かに強制される活動はボランティアとは言わない。

ボランティアとは？

- ボランティア活動の3つの基本概念

「自発性」以外にボランティアに大事な要素があります。

それが、**「ボランティア3大原則」**です。
①自発性・・・言われなくても、自分からする。
②社会性・・・自分の為だけではなく、みんなの為にもなる。
③無償性・・・「金銭的な利益」を求めない。

まとめると・・・
ボランティアとは、「金銭的な報酬をもらう事を目的とせず、
自分がやってみたいと思う事を自ら進んで行動することで
みんなにとって良いことに繋がること」と説明することができる。

一般的なボランティアのイメージは、
「無償でみんなが嫌がる事をやる人」と思うがこれは**間違い。**
→認識していないだけでボランティアをしてる事も？

ボランティアとは？

- 日常でよくあるボランティアの例

⇒道に迷っている人に道案内をした。
⇒公園に落ちていたゴミをゴミ箱に入れなおした。
⇒重い荷物を持っている人を手伝った。
⇒近所の子どもの面倒を見た。
⇒スーパーで迷子の子どもを保護した。

日常にありふれた行動を自分ができる範囲で
継続的に行えば立派な「ボランティア活動」となります。
そして、活動の中で個人では解決できない問題に対し
同じ気持ちを持った仲間を集め力を合わせることで、
想いを実現していく・・・それが「ボランティア団体」です。

自由な発想で幅広い分野・対象への「ボランティア」が沢山ある。
→必ずやってみたい活動と出会うことができるはず！！

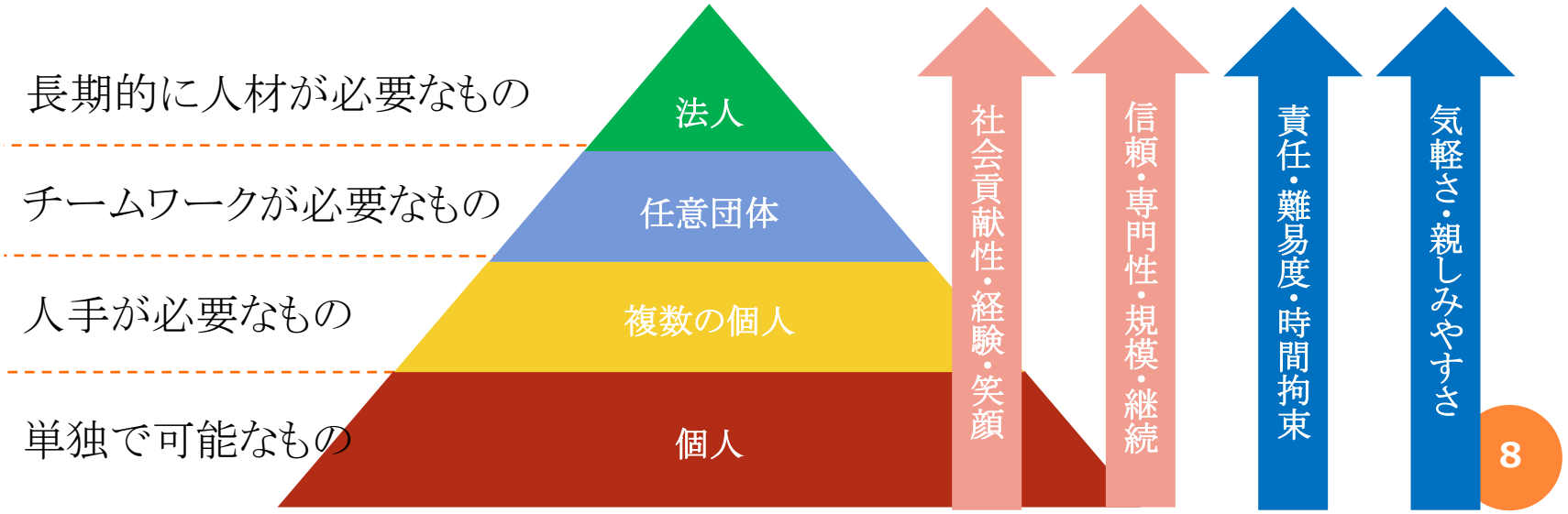
ボランティアとは？

- ボランティア活動の対象となるもの

① 健康や医療を促進
② 障碍者の支援
③ 子どもの健全育成
④ スポーツ・文化芸術の促進
⑤ まちづくり（コミュニティ）支援
⑥ 高齢者支援
⑦ 安全な生活の促進
⑧ 自然や環境の保護
⑨ 災害支援
⑩ 国際協力
⑪ その他

ボランティアとは？

- ボランティアへの関わり方について（構成とその参加比率）
  沢山ある分野・対象に対し、関わり方も数多く存在します。
  関わり方には、ボランティア側の関わりやすさの他に、
  良いところ・悪いところがあるため、
  自分が「こうしたい！」という思いにより近い関わり方を選ぶ事ができます。



ボランティアとは？

- まとめ

ボランティア活動とは・・・

(1)誰かに強制されず自発的に行うものである。

(2)色んな対象・分野が存在する。

(3)それぞれの対象・分野への関わり方は一つではない。

(4)自分に合った関わり方を選ぶ事ができる。

自分ができる範囲で、やってみたい事を探してみればきっと見つかる。

ボランティアの良いところとは？

- ボランティアの良いところは？

(1)ボランティアの良いところってなんだと思いますか？

(2)ボランティアは世の中に必要だと思いますか？

□ はい　□ いいえ　□ わからない

(3)(2)でなぜそう思ったのかを書いてください。

ボランティアの良いところとは？

- ボランティアってなんで社会に必要なの？

社会には大きく3つの組織が存在します。
①行政　・・・全体の福利向上を目的
②企業　・・・会社の利益向上が目的
③民間　・・・不特定多数の利益向上が目的

ボランティアは③に含まれるが、例えば災害時に・・・
①⇒全体の情報を把握⇒支援の方法検討⇒上司の認可⇒行動
②⇒会社の利益を検討⇒予算の決定⇒上司の認可⇒行動
③⇒情報取得⇒行動

つまり、ボランティアは全体を把握する必要もなく、
利益を追求することもないため、自分の意思決定で即行動する事ができます。

ボランティアの良いところとは？

- ボランティアが持つ色んなパワーとは？

① **対応の速さ・機動性**
　行政と違い全体を把握する前に行動できる！

② **個々に応じた対応・暖かさ**
　「あなた」の為に行動できる！

③ **多彩さ、多元性**
　個々の特性を生かし、力を発揮できる！

④ **先駆性、創造性**
　誰かの干渉がないまま自己責任で行動できる！

⑤ **市民の「自治力」向上**
　市民が社会に参加する意識が高まる！

ボランティアは、迅速な対応が必要な場合や、
地域の問題、個々に応じた柔軟な対応が必要な時に、
行政や企業にはできない、凄いパワーを発揮できる。

ボランティアの良いところとは？

- ボランティアに参加することで得られるもの。

①感情的な要素（心の充実）

・誰かに「感謝」してもらえる。
・誰かに「必要」としてもらえる。
・誰かに「笑顔」で接してもらえる。

②知識的な要素（知識・コミュニケーションの向上）

・新しい社会を知るきっかけとなる。
・色んな人の考え方を知るきっかけとなる。
・自分自身のことを知るきっかけとなる。

③社会的な要素（地域社会の創造）

・自分の環境を自分で変える事ができる。

ボランティアの良いところとは？

- まとめ

ボランティアの良いところとは・・・
(1)行政や企業には無い機動性と暖かさがあること。
(2)個々の力を最大限発揮する事ができること。
(3)活動を通じて民間同士の絆が深まること。
(4)参加者の心の充実・知識の向上が望めること。
(5)自分たちで社会を良い方向に変える事ができること。

お互いを必要とし、お互いに助け合いながら、共に成長できる仲間が沢山増える！！

ボランティアの課題とは？

- ボランティアの課題とは？

(1)ボランティアに参加するときに注意することはなんだと思いますか？

(2)有償ボランティアってしっていますか？

□ はい　□ いいえ　□ わからない

(3)自発性の弱点ってなんだと思いますか？

ボランティアの課題とは？

- ボランティアが問われる責任

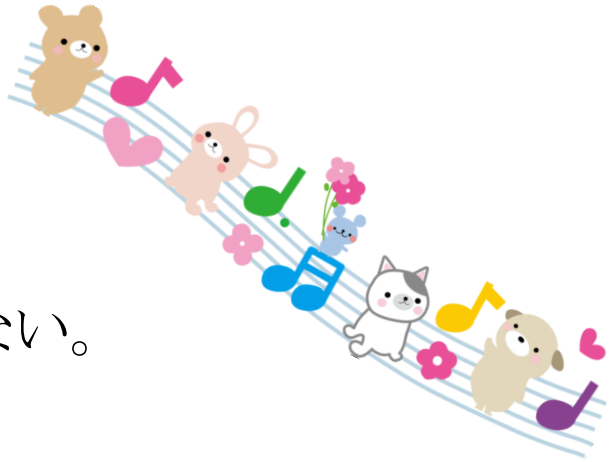
ボランティアは「自発性」＝自分の意思で行動する。
そして、行動には責任を伴う事を忘れてはいけません。

重大な責任を問われる場面
・過失事故による物損、傷害、食中毒
・対象者の機密、個人情報の漏えい
・個人、組織に対する中傷、名誉を侵害

金銭を受け取らない⇒責任がない×

重大な事故が起きた場合、たとえ過失であろうと、責任の所在はその当事者だけではなく、責任者、周りにいた人物にもおよびます。当然、損害賠償などの支払いを求められることも。

ボランティアの課題とは？



- ボランティアに参加する時の心構え

(1)責任者の支持に従い、安全を心がける。

(2)ボランティアで得た情報を他者に漏らさない。

(3)他人を傷つけたり、非難する事はしない。

(4)万が一に備えてボランティア活動保険には加入する。

【ボランティア活動保険とは？】

全国社会福祉協議会などで加入できるボランティア活動の為の任意保険。

1983年に三重県で起きた子ども会ハイキング中の溺死自己で、その引率者が「過失致死罪」で起訴され、多額の賠償金を払わなければならなくなった事件をきっかけに作られた。

ボランティアの課題とは？

- 「有償ボランティア」の出現による混乱

「有償ボランティア」「ボラバイト」という言葉があるが、様々な問題点がある。

(1)対価を得る事が前提でボランティアではない。
(2)ボランティアにかこつけて賃金を安くしている。
(3)間違ったボランティアの解釈で混乱を招く。
(4)ボランティア活動保険の対象にならない。

こうした理由から「有償ボランティア」「ボラバイト」は、絶対に使ってはいけない。参加してもいけない。

ただの「賃金の低いアルバイト」である。

ボランティアの課題とは？

- 自発性におけるデメリット

①自発的活動の弱点
・全体への影響の配慮
⇒善意が悪い効果を生むことも。
（例：救援物資が被災地の復興妨げに・・・）
・自己完結的な思考
独りよがり、自己満足、責任放棄、人任せ

②自発性パラドックス（疲労と不信の悪循環）
・自発的活動は活動のペースも自由。
⇒「私」が問われる。（頑張りすぎ⇒燃え尽き症候群）

デメリットに対する対策
・知識の向上　・現状改革　・現実を受け止める
・目標を立てる　・支援者を得る　・問題を見出す

ボランティアの課題とは？

- ボランティア活動に参加する際の3つのバリア

①窮屈なイメージのバリア
⇒無償である事への特別なイメージ
②具体的な活動情報不足のバリア
⇒身近な場所に情報を得るところがない。
③自発的でないといけないというバリア
⇒自分から何をしていいか、何がしたいかわからない。

バリアに対する打開策
①無償であることの自然さの理解⇒家族・友人へは？
②情報発信を積極的に行う⇒親しみやすいツール等
③プログラムの工夫や開発⇒楽しそう。誰でも出来そう等

ボランティアの課題とは？

- まとめ

ボランティアの課題とは？
(1)たとえ過失であろうと責任を問われる事がある。
(2)善意が必ずしも効果を生むとは限らない。
(3)自己満足も自己犠牲にも陥入りやすい。
(4)有償ボランティアという言葉の問題がある。
(5)窮屈なイメージ、情報不足などのバリアがある。

お互いが対等（WIN＝WIN）の立場になり、こうした課題を意識しながら相違工夫をしつつ、どんどん情報を発信していく事が大事。

ボランティアを楽しむために・・・

- ボランティアをどうとらえるか？

(1)あなたにとってボランティアとはどういう存在ですか？

(2)ボランティアは自分にとっても良いものだと思いますか？

□ はい　□ いいえ　□ わからない

(3)(2)でそう答えた理由を具体的にあげてみてください。

ボランティアを楽しむために・・・

- ボランティアをどうとらえるか？

例：ボランティアは恋愛に似ている。
・自分が「好き」な対象を選ぶ事から始まる。
・金銭ではなく感情の充実の為に行う。
・お互いが対等の立場に立って行う。
・しんどい時もあるが、元気になれるものだ。
・気が変わったり、やめてしまうこともある。
・「答えは1つ」ではない。

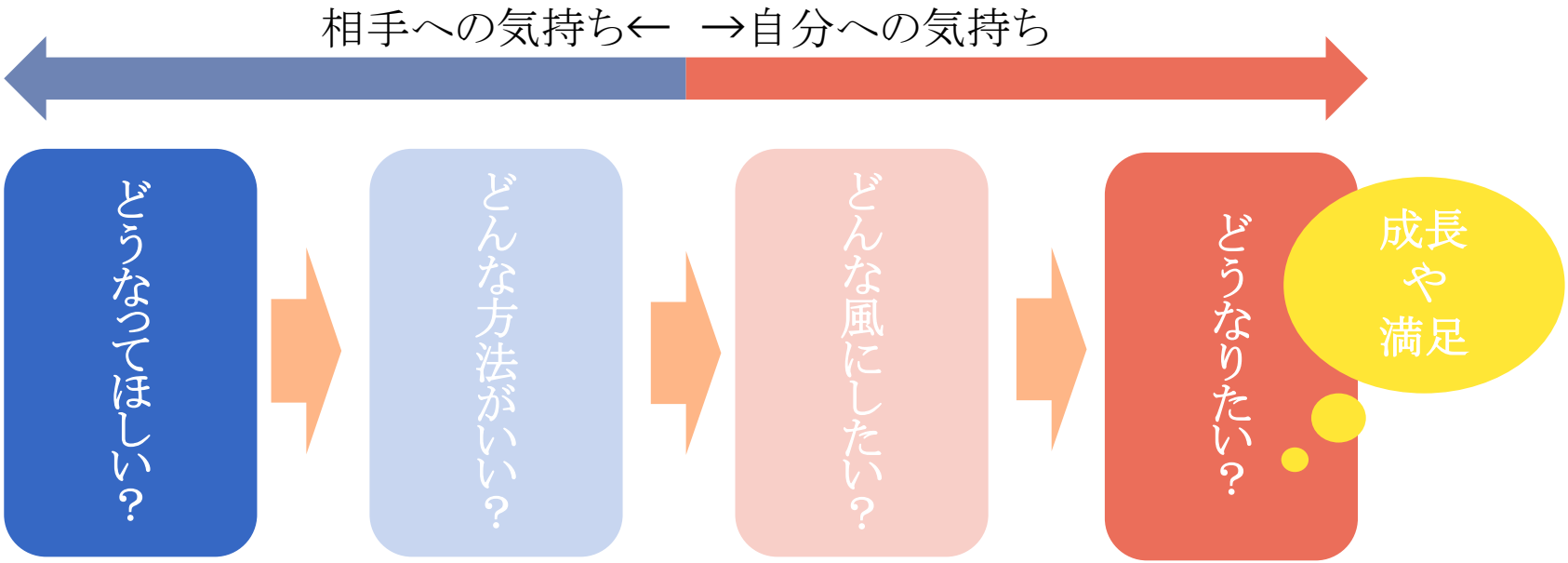
選択肢に対する「正解」を求める必要はない。
「理想の男性≠理想の恋人」と同じ。
○○である《べき》というモノは自分の中にはあるが、
それを押し付けることはできない。
但し、「理解する」ことはできる。恋愛も同じ。

「○○したら喜ぶかな？○○したら嬉しいかな？」
試行錯誤した末の行動に対する相手の感謝の気持ちが喜びに繋がる。

ボランティアを楽しむために・・・

- 「期待（効果）」に対する「行動や想い」を明確にする。

行動する前に自分の中で「相手と自分を対等」にすることがとても大事。
一度、自分の気持ちを整理してみよう。

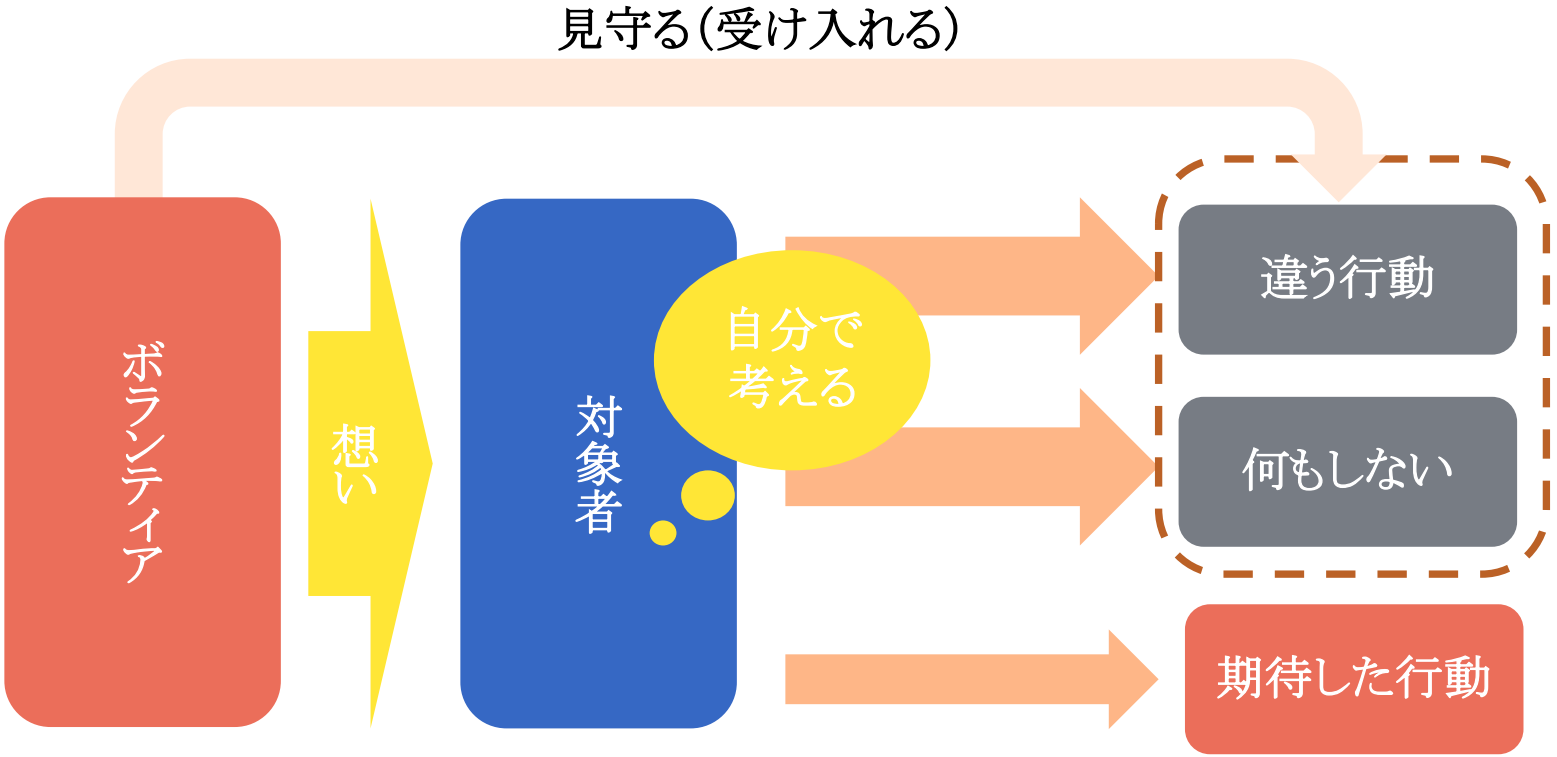


全てが一致していなければ無理をしている気持ちになったり、
相手に対して自分が何ができているのかが分からなくなってしまう。
又、人に「伝える」事で「共感」を得ることもできない。

ボランティアを楽しむために・・・

- 「見守る」＝対象の自発性を尊重する事も大事。

相手が人である場合、期待する事がすべてうまくいくことは殆どない。
⇒結局、その人自身が選ぶしかない。受け入れて見守る気持ちを持とう。



ボランティアを楽しむために・・・

- 「みんな違って、みんな良い。」市民社会の創造。

ボランティアとは「自分」という「個性」が、「他人」で構成された「社会」と結びつくための手段だと言えます。その為に色んな課題と向き合う必要があります。

だからこそ、まずは自分から行動
⇒「見る」「聞く」「話す」「体を動かす」をしながら、
自分にはいったい何ができるのか？を考える事が大事です。

そうすることで、
「お互いを必要とし、認め合い、共感し、高めあう。」
といった素晴らしい仲間や時間を手に入れる事ができます。

その事を意識して活動する事が、
ボランティアを楽しむ一番のコツだと言えるでしょう。

そして、みんなが楽しく幸せに暮らせる社会の創造の為に・・・

明るく、楽しくボランティアに参加しましょう！！！